

～日本初！宿泊機能を持つアンテナショップ～

徳島県「Turn Table(ターンテーブル)」を渋谷に新設

増加する訪日外国人などの宿泊ニーズに対応するとともに、街の新たな魅力を創出

東京急行電鉄株式会社

当社は、渋谷区における宿泊施設の拡充と街の魅力向上を目的に、徳島県と連携し、日本初の宿泊機能を有するアンテナショップ「Turn Table(ターンテーブル)」(以下、本施設)を渋谷に新設します。本施設は、東急線・JR線他渋谷駅から徒歩10分に位置し、当社が取得した築21年のビルを徳島県に一棟全て賃貸した後、徳島県などが運営する宿泊施設、レストラン、マルシェを備えた複合型集客施設にリノベーションするものです。2017年度中の開業を予定しています。

宿泊施設は、最大で68名が宿泊でき、完全個室と相部屋の両タイプを備えています。2020年の東京五輪に向け、ますます増加が予想される訪日外国人や日本各地から渋谷を訪れる方の、廉価な価格で宿泊したいというニーズに応えるため、相部屋の宿泊価格は1泊1万円以下となる予定です。宿泊施設の内装に徳島県産木材を使用するほか、施設利用者の相互交流空間ともなるレストランでは、徳島県産食材を使用した料理を提供するなど、施設に滞在することで徳島県のさまざまな魅力を「体験」していただく仕掛けを施します。

渋谷は、ICTやクリエイティブ産業が高密度で集積し、情報感度の高い方たちが集まる街ですが、本施設の周辺には隠れ家的な飲食店が多く、クリエイターやインフルエンサーの方たちが特に注目するエリアであることから、本施設の新設に至りました。今後は、本施設でのイベント開催を通じて、情報感度と発信力の高いインフルエンサーによる、徳島県の情報拡散を目指していきます。

今回の取り組みは、当社が現中期3か年経営計画において推進している「不動産賃貸事業の更なる拡充」の一環です。また東急グループは、渋谷駅周辺の大規模開発において、今月28日開業の「渋谷キャスト」でサービスアパートメントを設けるほか、2018年秋開業予定の「渋谷ストリーム」「渋谷代官山Rプロジェクト」でもホテルを設けるなど、宿泊機能を順次整備しています。

今後も、渋谷区をはじめとするさまざまな方と連携し、渋谷の新たな魅力を創出することで、国内外からより多くの方に訪れていただけるよう、「日本一訪れたい街 渋谷」の実現に向けて取り組みを進めていきます。

「Turn Table(ターンテーブル)」の概要は別紙の通りです。



▲外観イメージ



▲宿泊施設内イメージ

以上

(参考)本日、この資料は国土交通記者会、都庁記者クラブ、国土交通建設専門紙記者会にお届けしています。

本リリースに関するお問い合わせ先

東京急行電鉄株式会社 社長室広報部広報課 報道担当

電話: 03-3477-6086

【別紙】

「Turn Table(ターンテーブル)」の詳細

■概要

- 所在地：東京都渋谷区神泉町10-3
- アクセス：東横線・田園都市線・JR・東京メトロ線「渋谷」駅 徒歩約10分
京王井の頭線「神泉」駅 徒歩3分
- 敷地面積：357.23㎡(108.06坪)
- 構造：鉄骨造陸屋根5階建
- 建物面積：864.22㎡(261.42坪)
- 建物用途：ホテル、レストラン、店舗
- 所有者：東京急行電鉄株式会社
- 賃借人等：徳島県、Japan. asset management 株式会社
- 設計・施工：株式会社DIY工務店、リノベる株式会社
- 運営：株式会社R. project 他



▲位置図



▲レストランイメージ